

ほっとニュース

第32号

4月です。春です。新年度です。皆様はいかがお過ごしでしょうか？今年はずっと桜が見頃のころに雨つづきで、あっという間に葉桜になってしまいましたが、皆様はうまくお花見に行かれましたでしょうか。PASネットの本拠地である西宮市は、夙川や武庫川のあたり、甲山の北山貯水池、越水浄水場などなど、桜の名所にあふれています。それなのに、私はお花見の機会を逃してしまいました。もちろん、家のベランダからや通勤の途中などに「桜」は見ました。が、それは「お花見」とは違いますよね。もっとイベント的な、行楽的な「お花見」を来年こそ実行するぞ、と決意を新たにしています。

と冗談はさておき、新年度ということで、巷には新入生、新入社員、新学期など「新」があふれておりますが、それに漏れず「新制度」スタートということで、障害者自立支援法や高齢者虐待防止法などが施行されています。いよいよ新制度の幕開けということで、手続き面での対応や人事の異動等でお忙しい福祉関係者の方も多いと思います。しばらくは様々な混乱が予想されますが、とにもかくにも「新制度」はスタートしてしまいました。今後どんな展開を見せるのか楽しみ？ですね。

さて、PASネットの会員の皆様をはじめホームページをご覧の皆様、今年度も引き続き、PASネットへのご理解とご協力をお願いいたします。またこの「ほっとニュース」やPASネットに関して、なにかご意見・ご要望等がございましたら、メールでお寄せくださいますよう、よろしく願い申し上げます。

1、権利擁護事例検討会の報告

3月の定例事例検討会は前年度最終回ということで、PASネットが木口ひょうご地域振興財団の助成金を受けて行いました「成年後見制度についてのアンケート」調査結果についての報告を行いました。

2000年に成年後見制度がスタートして約5年が経ちましたが、この制度が福祉の現場にどれだけ浸透しているのか、またなかなか制度が普及しないのはなぜなのか、といったところを探るためにPASネットが独自にアンケート調査を行いました。調査対象は高齢者関連事業者、障害者関連施設、病院、保健所等の相談員やケアマネージャーなど、利用者から相談を受ける立場の方、弁護士、司法書士、社会福祉士で、後見人を受任する立場の方、とし、別々のアンケートを作成しました。結果の概要ですが、の場合、福

社関係者の9割以上が成年後見制度について知っている、また研修会等に参加しているという結果が出ています。そして制度利用に至った理由としては「判断能力に問題が生じた」「財産管理に問題が生じた」と、実際に具体的な支障が生じたことで制度利用に繋がったようです。また制度の使いにくい部分としては、申立費用、後見報酬等の費用がかかる、という回答が高くなっており、費用面が制度利用を妨げている、という結果がでました。また に関して、後見人等受任の対象者は高齢者が6割を占め、成年後見制度のニーズは高齢者が高いという結果が出ました。受任の形態としては7割が単独後見であり、高齢者の財産管理を弁護士、司法書士が単独で行っているケースが多い、という結果となりました。このアンケート調査結果については別項目でホームページに掲載を予定していますので、興味のある方はまたご覧ください。

新年度からの事例検討会は通年のテーマを「法律と福祉の連携」としまして、PASネットが実際に関わった成年後見制度における複数後見の実践事例を紹介し、法的な側面、福祉的な側面それぞれのアプローチの仕方や両者の連携の方法について、具体的な検討を行っていきたいと思います。

事例検討会はPASネットの会員であれば誰でも無料で参加できますし、会員でない方も当日にPASネットの会員にご登録いただければ参加できます。また一度見学してみたい、テーマによっては参加してみたいという方は、参加費二千元をお支払いいただければ参加できますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

PASネット月例事例検討会

・ 4月25日(火) 18:30~

テーマ 「法的支援と福祉的支援 その1」

~ 成年後見制度における複数後見の実践事例 ~

報告者 PASネット理事長 上田 晴男 他

場所は西宮市総合福祉センター内です。

2、「権利擁護フォーラム」について

3月11日の「第5回ネットワーク会議」のなかで、弁護士、司法書士、社会福祉士の3職種の協働実践の実現に向けて開催を目指すこととなりました「権利擁護フォーラム」(仮)ですが、その実行委員会結成に先立ち、実行委員長と2名の事務局長、PASネット理事、PASスタッフ有志による打ち合わせが行われました。フォーラムの主催対象を

誰とするか、地域や規模、予算、テーマなどについて意見の交換が行われ、実行委員会開催に向けての準備についてやフォーラム開催までのプロセスについての話し合いが行われました。まだまだ「権利擁護フォーラム」のイメージは漠然としていますが、何回か実行委員会を重ねていくうちに8月頃をめどにフォーラムの輪郭が明確になれば、ということです。

来年3月のネットワーク会議はこの「権利擁護フォーラム」に振り替える予定ですが、それ以外のネットワーク会議(6月、9月、12月)はそれぞれテーマを持って、予定通りに開催いたします。ただ、その会議のなかで随時実行委員会の活動状況を報告していくことになると思います。また、ネットワーク会員の皆様のご協力もお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

~ TOPIC ~

平成18年度PASネット定期総会のご案内

年に1度の総会の季節がやってまいりました。PASネットでは5月13日(土)、西宮市立勤労福祉センターにて平成18年度定期総会を開催いたします。前年度の事業報告と決算報告、今年度の事業計画と予算、定款の変更について等の議案の採決を予定しています。ただし、議決権はPASネットの正会員の方のみとなっておりますので、支援会員の方は傍聴のみの参加をご了承ください。また総会終了後にちょっとしたイベントも企画しております。PASネットの会員相互の交流を深める機会でもありますので、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願いいたします。

~あとかき~

新年度ということでPASでも「人事異動」の噂がちらほら・・・。「伊丹か?」「尼崎か?」「クビか?」と私も戦々恐々?としていましたが、なんとか席替えもなく同じ席に居座っています。今年度も新たな気持ちで頑張るつもりにはしていますが、年度あけ早々仕事山積で、なんとなくこのあとかきが「愚痴りコーナー」になりそうな予感?スミマセン。では話題沸騰のコーナー「PASの人々」です。今回はおばちゃんキラ、期待の若手Y下さんです。4月から正式にPAS職員となった彼は女性スタッフが多いPASのなかで数少ない男性スタッフです。若い男性ということで、周りの年上女性スタッフから可愛がられ?、次々と仕事をふられております。一見頑丈そうに見えますが、あまりの仕事のふられように脈が乱れ、めまいまで起こしている彼。しっかりせーよー。期待しているからこそ仕事をふっているのさー。頑張れ!!(BB)

今日の空 明日の風

その4 ~ 権利擁護と支援計画 ~

上田 晴男

皆さん、しばらくご無沙汰してしまい申し訳ありません。久しぶりのコラムですが、今回は、権利擁護と支援計画について考えたいと思います。

「権利」が誰でも持っている社会的に認められたものであり、それを行使し、逆に「侵害」された時に、拒否や抗議によって守ろうとするのは本人にとって当然のことと言えます。しかし、私たちも力の強い相手や難しい内容だと自分の力だけではかなわないので誰かに援助をお願いします。つまり、権利擁護自体は基本的にその人自身が行うことなのですが、困難な場合には誰かの助けを必要とするということです。

一般の人がそうであれば、何らかの障害があるために生活に支援が必要な人たちにとっては、権利擁護を行うことやそこでの必要な「助け」を確保することにも「支援」が必要とされます。まさにPASネットでは日常的にそうした活動を行っているわけです。

しかし、何人かのスタッフでの協働作業で適切な支援を行っていくためには、対象者のプロフィールや状況等の共有、基本的な考え方の確認等が重要となります。そこで「支援計画」の作成が必要となるわけです。福祉サービスの利用に当たっては、ケアプランや個別支援計画等によりサービス内容の確認を行いますね。権利擁護の支援についても同様に考えています。「支援計画」は、相談者やご本人との間で、これから行う支援の内容や方法

等について確認していく意味もあります。また権利擁護支援には多くの関係者の協力が必要となります。その協力を得るためにも基本的な情報提供や考え方の共有が重要となります。このように「支援計画」は、支援の実践をするための指針であり、当事者との確認であり、支援の輪を形成するための資源であるわけです。

PASネットでは、改めてこの「支援計画」の意義と重要性を確認し、それぞれの支援の内容や形態に対応した「支援計画」を作成するための整備を進めています。

まず初期相談から継続的な支援に移行する段階で「権利擁護支援計画」(3~6ヶ月程度の期間を想定した初期支援計画)を作成し、その後、支援が継続する場合は年度単位の「権利擁護支援計画」を作成します。またPASネットが法人後見を行う場合は「後見活動計画」を、第三者等の後見活動を支援する場合には「後見活動支援計画」を、それぞれ作成します。

現在は、継続して支援を行っている案件について、書式を整備しながら支援計画の作成に取り組み始めています。少しずつですが組織的な支援の具体化に取り組んでいきたいと思っています。

今年度も引き続きご支援よろしくお願い致します。

